

開始条件: ゲームを遊ぶ。子供の治療や世話をする (6人専用)

ゲストシナリオデザイン: マルセル・チェルテツチカ

目的: すべての子供を救出し、敵を全滅させる (終幕は2ページ目の後半にあります)

序章:

朝、仲間と共に、次なる野外への冒険の準備を整える。必需品を買い足すため、沈める市場へ出かけると、驚くべきことにいつもの冷たく湿った霧ではなく、息が詰まるような烈風が通りを吹き抜けた。見渡すと、遠くで炎が燃え盛っていた。直後、波止場で悲鳴が響いた。火元へと急ぐと、路上生活の子供たちのための養護院が燃えていたのである!

大型の有翼怪物が飛びまわり、建物の右翼に火を吹きつけている。魔神とドレークの群れは左翼に群がり、扉をこじ開けようとしている。すると怯えた様子の医師たちが駆け寄ってきて、息も絶え絶えに嘆願してきた。

「助けてください! 子供たちが、まだあの中に!!」

特別ルール:

唾吐きドレーク (上級) は、各ラウンド能力カード上の能力を使用せず、その代わりに地形タイル B1b、C2a、D1b にいる各キャラクターに、L/3 (切り上げ) 点のダメージを与えます。

後で登場する子供たち **(a)** は、シナリオ補助トークンの数字トークンで表します。その HP は各 3 + (2 × L) です。子供たちはパーティの仲間であり、他の通常の仲間のように治療できます。全モンスターの敵として扱い、モンスターの狙いを決めるときには行動順位 99 とみなします。キャラクター 1 人が手札を 1 枚破棄することによって、子供が受けるダメージを無効にできます。子供が 1 人でも倒されたなら、パーティはこのシナリオに敗北します。

セクション連結:

キャラクターの誰かが、いずれかの扉 **(1)** を開けたら、2 ページ目のセクション 01 を読み上げてください。

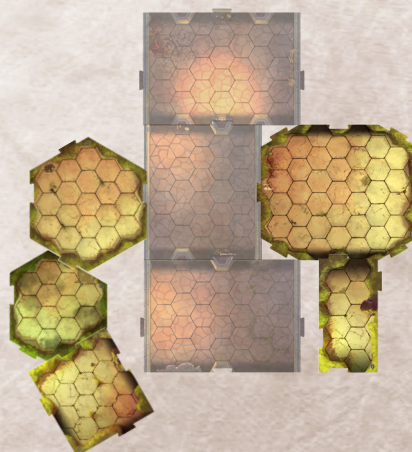
注意: 5 人目と 6 人目のキャラクター用の攻撃修正カードは、ダウンロードして自作できます。

<https://boardgamegeek.com/filepage/141840/extra-attack-modifier-deck>

使用する 地形タイル:

A4a
B1b
C2a
D1b
L1a
L2b
M1b
I1b

地形タイルの 配置図



業火の魔神



八つ裂きドレーク



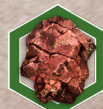
唾吐きドレーク



燃える地面
(× 8)



丸太
(× 2)



巨岩
(× 1)



巨岩の塊
(× 2)

セクション 01

養護院への突入：

内部に突入すると、部屋のほとんどが炎に包まれていて舌を巻いた。中心には生ける〈灼熱の化身〉の巨体が陣取っている。東の裏口の前は、木箱で封鎖されていた。

南東隅では、怯えたヴァルラスの少女が、衣服の山の下に隠れようとしている。視線をあちこちへ巡らせつつも、口を手でしっかりと塞ぎ、必死で動かないようにしていた。

北西の隅に目をやると、人間の少年が受付の椅子の下に身を隠し、這いよるドレークに震えている。

さらに奥へ繋がる左右の扉の奥からも、小さな泣き声が聞こえてくる。他にも子供たちがこの建物内に囚われているに違いない。今すぐ行動を起こし、化け物どもを尻ぎ倒さねばならない。さもなくば無垢で哀れな子供たちが、奴らの盲目的な怒りと破壊の餌食となるだろう。

特別ルール：

木箱 **b** の HP は 2+C+L です。

太陽の魔神（上級）こそが〈灼熱の化身〉であり、その HP は H×3 となります（H は上級の太陽の魔神の通常 HP の値）。気絶 **⚡**、武装解除 **🔪**、足止め **👤** になりません。能力カードは太陽の魔神のものではなく、ボスのものを使用してください。



業火の魔神



八つ裂きドレーク



太陽の魔神



燃える地面
(×5)



木箱
(×2)



石柱
(×1)



テーブル
(×1)

ボスの特殊アクション1：

地形タイル L1a、L2b、I1b 上の全子供は、ダメージを1点受けます（地形タイル L1a や L2b が未公開なら、代わりにその各地形タイルの脇に、1ダメージトークンを1枚配置してください）。

〈灼熱の化身〉は、次のアクションを実行します：

攻撃 **🔥** +0、標的 **🎯** 2、射程 **🏹** 3

ボスの特殊アクション2：

〈灼熱の化身〉は、次のアクションを実行します：

移動 **👤** -2、攻撃 **🔥** -1
治癒 **💧** L+1、標的 **🎯** 3、射程 **🏹** 5

セクション連結：

キャラクターの誰かが扉 **②** を開けたら、3ページ目のセクション 02 を読み上げてください。

キャラクターの誰かが扉 **③** を開けたら、3ページ目のセクション 03 を読み上げてください。

地形タイルの配置図



終幕：

灰塵からの脱出：

最後の子供を抱え、燃ゆる養護院から飛び出した瞬間、まるで業火がその食事を終えたかのように、柱が落ちて建物は倒壊した。

けたたましい音を立てながら崩壊するその様子に、幼いヴァームリングの少年はおびえきり、甲高い悲鳴を上げた。年長のオーキッドの少女が、その子をなだめるように抱きしめた。ともかく救出した子供たちのすべてを、避難していた医師と他の子らの元へと届けることができた。

こんな災厄から立ち直り、養護院を再建するには相当の時間と資金がいるだろう。それでも不幸中の幸いなのは、子供たちが誰ひとりとして重傷を負っていないということだ。医師たちは、両の瞳から滝のように涙を流しながら、口々に感謝の言葉を繰り返した。

すると背後に控えていたグルームヘイヴン市民たちから、迅速な救出活動を称える歓声と拍手が上がった。大櫓の聖域の聖職者たちは、養護院が元通りになるまで、子供たちの面倒をみると請け負った。

そのうちのひとりが語りかけてきた。

「あなたがたは、この^{グルームヘイヴン}逢魔ヶ港の人々のために、比類なき偉業を成し遂げたのですよ」

一仕事終わってクタクタになり、みなで〈眠れる獅子亭〉へと戻ることにした。こんな戦いの熱を冷やし、からだを休めるには、最高級の酒が必要だった。

願わくば逢魔ヶ港の市民たちが、養護院と子供たちのために、良き心を示してくれますように。

報酬：

名声+3

諸君が助けた養護院の全子供からの感謝の念

セクション 02

知識の広間:

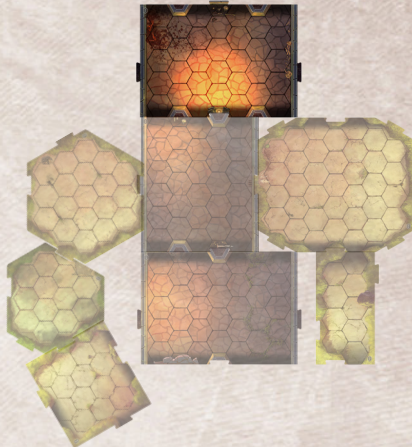
北側の扉を抜けた部屋には、疾病の治療法が記された本を収めた書棚が並んでいた。うち何冊かは床に散らばり、焦げ始めている。うち何冊かは床に散らばり、焦げ始めている。恐ろしいドレークが、侵入者たる諸君に対して鎌首をもたげ、大きな唸り声をあげる。

子供が2人、書棚の間に隠れていた、またさらに2人が、業火の魔神によって部屋の隅に追い詰められていた。迅速に対処しなければ、手遅れになってしまう。

特別ルール:

この地形タイルにいる各子供は、L1aの地形タイル脇に配置されているダメージトークンの数だけダメージを受けます。その後、L1a脇のダメージトークンを取り除きます。

地形タイルの配置図



業火の魔神



八つ裂きドレーク



燃える地面
(× 2)



書棚
(× 4)

セクション 03

食堂:

扉を蹴破ると、木製のテーブルが並んだ石造りの部屋であった。テーブル上には、最後の食事の残骸が散らばっている。おそらくは火事が起きた直後、放棄されたのであろう。もう一脚のテーブルがあったろう場所は、単なる焼け跡と灰になっていた。その付近には業火の魔神がおり、炎の熱から力を吸収して、途轍もない大きさへと成長していた。

見渡すと、隅に3人の子供がいる。オーキッドの少女が、他の2人を守るため、勇敢にもその身を盾としていた。目線が合うと、彼女は南西角の暗がりを目指した。そこにはヴァームリングの少年がおり、今にもドレークに食べられそうであった。顔を返し、すぐさま救出に向かう。

特別ルール:

この地形タイルにいる各子供は、L1bの地形タイル脇に配置されているダメージトークンの数だけダメージを受けます。その後、L1b脇のダメージトークンを取り除きます。

地形タイルの配置図



業火の魔神



八つ裂きドレーク



燃える地面
(× 2)



テーブル
(× 2)